

湘南

二宮町 ガイドマップ



海と山と花に囲まれた自然豊かな歴史あるまち



🌻 二宮町ってどんな町？ 町の由来・物語を紹介！

🌻 史跡と歴史を見る！ 川勾神社

🌻 早咲きの菜の花と海と富士山を一望！ 吾妻山菜の花ウォッチング

🌻 二宮の恵みをお土産に！ 特産物・二宮ブランド商品

町の魅力をギュッと凝縮！



二宮町PR動画
「菜の花畑のニーノ
～二宮町においてよ！～」
はこちら

湘南

二宮町 ガイドマップ

二宮町は神奈川県南西部に位置し、東京からの距離は約70km。東は大磯町、北は丹沢連峰を背に中井町、西は中井川をはさんで小田原市、南は相模湾に面しています。町の形状はおおよそ三角形で、南部は東西の幅3.3km、北に進むにしたがって狭くなり、南北は3.8kmで、総面積9.08km²。町を東西に分断するように2級河川の葛川が流れ、東海道本線、国道1号、西湘バイパスと小田原厚木道路が東西に走り、南北には県道秦野二宮線があり、充実した交通環境となっています。気候は温暖で、豊かな自然と新鮮な海の幸・山の幸に加え、純朴な風土が魅力的なまちです。

施設案内 市外局番 0463

二宮町役場

神奈川県中郡二宮町二宮 961
(二宮町民センター2F
産業振興課)



71-5914

(一社) 湘南にのみや観光協会

神奈川県中郡二宮町二宮 961-26
(二宮町民センター1F)



73-1208

観光協会公式 Instagram

二宮町のイベント情報や日常風景を
随時お届けしています。



@ninomiya.kankou

二宮町民センター 71-0141

生涯学習センターラディアン 72-6911

二宮町図書館 72-6913

二宮町ふたみ記念館(美術館) 70-3210

吾妻山公園管理事務所 72-3611

二宮せせらぎ公園管理事務所 72-6112

二宮果樹公園管理事務所 72-1203

川勾神社社務所 71-0709



ふるさと納税

皆さまの寄附金は、さまざまな地域課題の解決や魅力あるまちづくりに活用させていただきます。多くの皆さまからのご支援をお待ちしています。

返礼品 (一部)



湘南ニ宮オリーブ
エキストラ・バージン・オリーブオイル



ニーノミーヤマグネットシート



詳細は町HPをご確認ください。



二宮町の由来

大和朝廷による国家統一が進んだ4世紀ごろ、二宮は師長(しなが)国に属していましたが、大化の改新によって国部制が敷かれると、師長国は相武(さがむ)国と合併し、相模国となりました。旧相武国の一之宮であった「寒川神社」と、旧師長国の一之宮だった「川勾神社」は新しい相模国の一之宮を争い、結果、川勾神社が二之宮となりました。以来、川勾神社のある地域を『二宮』と称するようになったことが由来です。この由来は国府祭(祭・イベントを参照)の座問答で語られています。

二宮町の二つの物語

吾妻山物語

～日本武尊と弟橘媛命の深い愛～

古代、日本武尊が天皇の命により東征に向かう道中、船に乗って三浦半島の走水から上総へ渡ろうとしていると、突如暴風が起こり、一行は船もろとも沈みそうになりました。一行を案じた日本武尊の妻・弟橘媛命が、海の神の怒りを鎮めるため自ら海中に身を投じると、海はたちまち静まり、一行は命を取り留めることが出来ました。その後、現在の二宮町の袖が浦海岸に弟橘媛命の櫛と衣の袖が流れ着き、吾妻山山頂に埋められました。その場所が現在の吾妻神社であると伝えられています。日本武尊と弟橘媛命の深い愛と思いやりの心は、二宮町の風土に今も息づいています。

ガラスのうさぎ

E7

太平洋戦争終結直前の昭和20年8月5日、二宮駅周辺はP51の機銃掃射を受け、幾人の尊い命が犠牲になりました。この時、目の前で父を失った12歳の少女が、その悲しみを乗り越え、けなげに生き抜く姿を描いた戦争体験記『ガラスのうさぎ』(高木敏子さん著)は国民の心に深い感動を呼び起こし、戦争の悲惨さを強く印象づけました。この出来事を後世に伝えるため、多くの町民の募金により昭和56年に二宮駅南口広場に『ガラスのうさぎ像』が建てられました。少女が胸に抱えているのは、父の形見となったガラスのうさぎです。



移住定住交流促進
「湘南にのみやLife」



海と緑に囲まれた湘南のまち、二宮町。海が、山が、星が、花々が美しいまちです。ちよつと行けば都会で、ちよつと行けば田舎で、お出かけするにもちょうどいい距離。とても優しく、なんだか懐かしくて笑顔でいられる、心地よいふるさとのような感覚。豊かな時間を、家族と一緒に。



公園紹介



吾妻山公園(かながわの公園50選) C6 C7 D7

約300段の階段をのぼり、散策道を抜けてたどり着く山頂付近では、緩やかな斜面一面に芝生が広がり眼下には青い相模湾を見渡せます。中央にある小高い展望台から見られる大パノラマの眺望は、絶景の一言。

北には「丹沢山塊」、西から南にかけては「富士山」、「箱根連峰」、「伊豆半島」が連なり、水平線には「大島」が浮かびます。冬には「房総半島」まで見ることが出来ます。

園内は年間を通じて様々な花が咲き、春には「桜」、初夏には「あじさい」、夏から秋にかけて「コスモス」、そして冬には「早咲きの菜の花」を見に多くの観光客が来場しています。

登り口は全部で4か所あり、約300段の階段をのぼって散策道を抜ける、駅から登り口まで徒歩5分の「役場口」、階段が苦手な方には、山道をゆっくり時間をかけて登る、駅からのぼり口まで徒歩25分の「中里口」など、登山者の体調に合わせてコースが選べます。

●開園時間／8時30分～17時 ●年中無休



この公園の
菜の花畑で
わたしたちは
出会ったよ



早咲きの菜の花

1月上旬～2月中旬にかけて約60,000株の早咲きの菜の花を来場者に楽しんでいただく、全町あげてのおもてなしイベント「菜の花ウォッチング」を開催しています。富士山と斜面いっぱいに広がる黄色い菜の花との見事なコントラストは、撮影スポットとしても毎年多くの方を魅了しています。開催期間中は、地場産品販売会、レシートラリーなど、吾妻山公園だけでなく、まち全体が観光エリアとなり楽しく周遊できる内容となっています。



せせらぎ公園

B3

豊かな自然に囲まれ、木道からは「かながわ花の名所100選」に選ばれている「ハナショウブ」や「アジサイ」など(6月上旬～7月中旬頃)を觀賞しながら散策を楽しむことができる公園です。

●開園時間:8時30分～17時
●年中無休



ラディアン花の丘公園 E5 E6

9月には彼岸花、秋には紅葉も楽しむことができ、子ども向けの遊具「ふわふわドーム(無料)」も大人気。

散策路は自然に囲まれた小道になっており、途中富士山を望める展望台もあります。※雨天の場合と毎週月曜日は清掃点検のため、ふわふわドームはお休みとなります。

●開園時間:8時30分～17時



二宮町の史跡と歴史

町の名称の由来になったお寺や、歴史上、町にゆかりのある人物など、史跡・歴史をたどって二宮町を知りましょう！

神社仏閣



川勾神社 (町名由来の地)

A6

今から1000年以上前の927年にまとめられた『延喜式神名帳』に記載された相模国13社の中にある名社で『二宮』の由来になった神社であり、創建は今から2000年前と言われ、二宮町の氏神様として今は祀られています。

現在は地元二宮町民が多く参拝しており、二見宮司も「川勾神社と二宮町は一体であり、そのため歴史が続いている」と話し、二宮の日常を表す場となっています。

毎年5月5日の国府祭や10月第2日曜日の例大祭、2月3日の節分祭など(祭、イベント一覧を参照)様々な行事が行われており、多くの観光客も足を運んでいます。



等覚院 (フジの花)

C7

古義真言宗の寺院。本尊は不動明王、その他多数の仏像が置かれています。

「藤巻寺」とも呼ばれており、その由縁となる4月下旬頃から咲くフジの花は町の天然記念物、重要文化財にも指定されています。



吾妻神社 (縁結び神社)

C7

吾妻神社は、吾妻山公園の展望台下に位置し日本武尊の妻、弟橘媛命が祀られています。吾妻山物語という二人の深い愛の物語は「古事記」や「日本書紀」にも描かれており、現在は縁結びの神様として信仰されています。

ニーノと一緒に居られるのは吾妻神社のおかげかも！



記念館



B6

ふたみ記念館 (二宮ゆかりの画家)

二宮が生んだ異才の洋画家、二見利節(ふたみ・としとき)の作品や関連資料を展示しています。二見利節は、昭和期に活躍した画家で、昭和8年に春陽展に初入選、昭和13、14年には文展(現在の日展)に連続入選するなどしました。また、作品をほとんど売らなかったことでも知られています。生涯で約4,000点の作品を制作していますが、そのうち遺族から約2,500点が寄贈され当館に所蔵しています。

●開館時間: 10時～16時

(入場は15時30分まで)

●入 場 料: 一般200円 中学生以下無料

●休 館: 月曜日・火曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)・年末年始



知足寺(曾我兄弟の墓) D6

知足寺は知恩院を総本山とする浄土宗の寺であり二宮の十夜寺、百万遍念仏の寺として広く知られています。鎌倉時代、源頼朝の家人で二宮の領主、二宮弥太郎朝廷の妻 花月尼が夫及び曾我兄弟の冥福を祈念し開基しました。

曾我兄弟のお墓は、境内(西方の丘)にあります。

※参拝者のご迷惑にならないようお気を付けください。

二宮町の特産品とおみやげ



特産物と二宮ブランド

二宮ブランド キャラクター「おとちゃん」

海と山の美しい自然に恵まれた気候温暖なまち、二宮。歴史や文化、恵まれた自然などの地域資源を最大限に活かして『二宮らしさ』と『付加価値』をつけて生みだされたものが『二宮ブランド』です。

「湘南オリーブオイル」地域団体商標登録

「湘南オリーブオイル」とは、二宮町をはじめとした近隣地域で栽培、収穫されたオリーブを原材料として搾油したオリーブオイルのことです。令和6年4月4日付で商標権を取得(商標登録第6793189)しました。



オリーブ

二宮の新たな特産物として『湘南オリーブ』の栽培に取り組んでいます。湘南オリーブオイルや新漬、葉を使ったお茶やお菓子など様々な商品が販売されています。

- 湘南二宮オリーブ
※数量限定商品のため、在庫状況は直接お問合せください。
- 湘南新漬オリーブ
- オリーブリーフティー



- 販売先: への屋 **D7**
((一社)湘南にのみや観光協会) 他
- 営業時間: 9:00~17:00
- 定休日: 年末年始
- TEL: 0463-73-1208



落花生

『南京豆』を当地で栽培・研究したものが関東一円に広まりました。町で最も歴史の経緯と伝統ある特産物です。

- 花盛(塩なし) 塩味)各5枚入り
- 販売先: せんべいのわたなべ **D5**
- 営業時間: 10:00~18:00
- 定休日: 日曜日
- TEL: 0463-72-4868



みかん

二宮町の農産物で生産量第1位の『湘南みかん』は、海と山に囲まれた温暖な気候に育まれ、甘味と酸味が程よく調和しています。

- 吾妻山米粉リング(湘南みかん)
- 販売先: あしのや **E6**
- 営業時間: 10:00~19:00
- 定休日: 火曜日・水曜日・第1日曜日
- TEL: 0463-71-2293



たまねぎ

二宮の豊かな土壌で育ったたまねぎは、柔らかくて甘味が強く、サラダなどの生食にも適している特産物です。

- たまねぎドレッシングからやかフレンチ
- 販売先: への屋 **D7**
((一社)湘南にのみや観光協会)
- 営業時間: 9:00~17:00
- 定休日: 年末年始
- TEL: 0463-73-1208



海産物

二宮沖は『瀬の海』と呼ばれ、様々な魚種がいる水産資源の宝庫。イワシ、サバ、アジ、インダイなどが二宮沖で獲れます。

- 瀬の海 サバの棒寿司
- 販売先: 京の味 圓山 **E4**
- 営業時間: 9:00~18:00
(前日予約にて受付)
- 定休日: 不定休
- TEL: 0463-71-4919



※値段やデザイン等は予告なく変更することがあります。

詳細は二宮ブランドHP →

祭・イベント



二宮の恵みを満喫



国府祭(こうのまち)

5月5日に大磯町国府本郷にある神崩山を中心に行われ、六所神社以外の五社(内、一社が川勾神社)の神輿が集まり、神事が執り行われます。ここでの古式「座問答」は、寒川神社と川勾神社の相模国一之宮争いの古事を今に伝えています。



湘南にのみやふるさとまつり

地場産加工品・特産物の販売など、二宮の「うまいもん」が集まり、ふるさとの実りを満喫できるイベントで毎年11月に開催しています。併せて町の農業者が丹精込めて育てた農産物の展示品評会・即売会を行う農林水産まつりも開催します。



川勾神社例大祭

10月第2日曜日に川勾神社の神輿が町内をまわり、夕刻より海岸で浜降り祭が行われます。各町内の高張提灯と本社神輿が浜に立てられた二本の竹を八の字を描くように三周まわった後、先導神輿が加わり宮入まで渡御します。



川勾神社節分祭

2月3日に川勾神社の境内で伝統的な祭事である「鬼追いの神事」、「雅楽」が繰り広げられます。



地引網

相模湾の新鮮で豊かな恵みを体感できます。

- 期間 毎年3月15日～11月30日
- 網元 湘南地引網 市五郎丸 TEL0463-68-2522
- ※料金・予約など詳細は上記までお問合せください。



© 東京ハイジ/二宮町

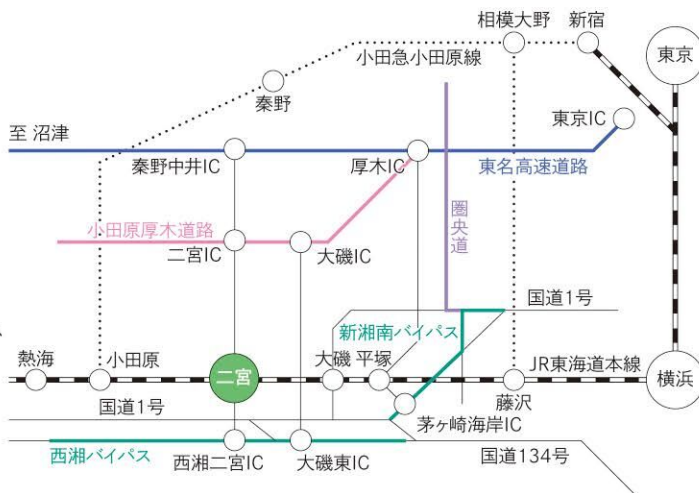
アクセス

●電車

JR東海道本線で東京から約70分。横浜から約40分。

●車

東名高速道路 秦野中井ICから約10分、小田原厚木道路 二宮ICからすぐ。



HANDSIGN (二宮町観光親善大使)



お問合せ

二宮町 産業振興課

〒259-0196 神奈川県中郡二宮町二宮961 TEL.0463-71-5914

発行日 令和8年10月 ※この印刷物の全部または一部を無断で複製使用することを禁じます。